

記者発表資料
発表後取扱自由

海洋博公園における 海洋文化館展示ホール「夏休み先行オープン」及び 内覧会の開催について

記者発表資料

国営沖縄記念公園海洋博覧会地区（海洋博公園）の海洋文化館展示ホールについては、平成25年10月のグランドオープンに向け、展示内容のリニューアルを進めているところですが、平成25年7月20日（土）～9月1日（日）の間「夏休み先行オープン」することになりました。先行オープンに先立ちマスコミ関係者向けの内覧会を開催しますのでお知らせします。

また、「夏休み先行オープン」に関連したイベントの一環として、海洋博サマーフェスティバル当日に今回展示用に建造した「本ハギサバニ」が糸満市より海洋博公園まで航海してやってきます。その他にも多数のイベントを予定していますのであわせてお知らせします。

先行オープンまでの主な予定

- 7月13日（土）16:00頃 「本ハギサバニ」エメラルドビーチへ到着（荒天時中止）
- 7月18日（木）13:30～ マスコミ向け内覧会（詳細は別添資料を参照下さい）
- 7月20日（土）8:30～ 海洋文化館展示ホール「夏休み先行オープン」

沖縄総合事務局

平成25年7月11日

記者発表

沖縄総合事務局記者クラブ

問い合わせ先

内閣府 沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園事務所
工務課 課 長 伊良部 哲
工務係長 中山 弘
建築設備係長 大城 幸朗
TEL0980-48-3140

海洋文化館展示ホール内覧会のお知らせ

海洋文化館展示ホールでは、7月20日（土）の「夏休み先行オープン」に先立ち、マスコミ関係者の方々を対象に内覧会を下記のとおり開催いたします。

内覧会日時：平成25年7月18日（木）13：30～14：30

場 所：国営沖縄記念公園 海洋博覧会地区 海洋文化館

沖縄県国頭郡本部町字石川424番地



なお、当日は海洋文化館映像ホール（プラネタリウム）玄関前に13：15迄にお集まり下さい。

※内覧会への参加を希望される方は、別紙の申込用紙に必要事項を記入のうえ平成25年7月17日（水）17：00迄にFAXにて申し込み下さい。

連絡先：沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園事務所 工務課 工務係

TEL：0980-48-3140

FAX：0980-48-3793

沖縄総合事務局
国営沖縄記念公園事務所 工務課宛

海洋文化館展示ホール内覧会参加申し込み書

所属（会社名等）	氏名	連絡先

※内覧会への参加は1社につき5名までとさせていただきます。

※連絡先については、各社の代表者の方のみで結構です。

海洋文化館展示ホール「夏休み先行オープン」について

国営沖縄記念公園海洋博覧会地区の海洋文化館展示ホールは、リニューアル工事のため、平成23年11月以降閉館しておりましたが、平成25年10月に全面リニューアルオープン（グランドオープン）を予定しているところです。

グランドオープンに先立ち、夏休みの期間中に「夏休み先行オープン」を行うことになりました。

◇今回のリニューアルの見どころの一部を紹介します。

●沖縄を代表する舟、サバニを伝統技法を用いて建造・展示。

沖縄県内で60年ぶりに復元されたマルキンニ（マチキフニ）。西表島の祖納集落で住民がユイ（結）と呼ばれる共同関係で協力してつくりました。松の木をくり抜いて作られているため、「マチキフニ」とも呼ばれています。

マルキンニの他にも「本ハギサバニ」「南洋ハギサバニ」を実際の建造状況の映像も併せて展示しています。



60年ぶりに復元されたマルキンニ

●床一面に広がる太平洋の地図と大型スクリーン



展示ホールの30m×15mの吹き抜けの床には、人類拡散をモチーフにした広い太平洋の地図が広がっています。また、床地図と大型スクリーンを組み合わせたダイナミックな映像で、海を越えて大移動した人々と海洋文化について紹介します。（※先行オープン期間はデモ映像です。）

●国内初の試み「バンド・デシネ」による壁画

国内では初めて、「バンド・デシネ」と呼ばれる「続き漫画」の手法を用いて、それぞれ約30mにもおよぶ壁画で、「伝統的航海師になるまで」と「伝統的なカヌーづくり」をわかりやすく紹介しています。



海洋文化館展示ホール「夏休み先行オープン！！」

国営沖縄記念公園海洋博覧会地区の海洋文化館展示ホールは、リニューアル工事のため、平成23年11月以降閉館しておりましたが、平成25年10月に全面リニューアルオープン（グランドオープン）を予定しているところです。

グランドオープンに先立ち、夏休みの期間中に「夏休み先行オープン」を行うことになりました。

一部の範囲では展示作業が残っていますが、本館にご来場いただき、太平洋地域ならびに沖縄の海洋文化の多様性をさまざまな角度から見て感じて、その価値観を理解していただくひとつの機会となればと期待しております。

【海洋文化館の概要】

国営沖縄記念公園海洋博覧会地区の海洋文化館は、1975年に当地で開催された沖縄国際海洋博覧会の際「海—その望ましい未来」をテーマに日本政府出展館として設置された展示館で、博覧会閉幕後も国営沖縄記念公園の施設として継承されました。

当時の展示内容は、1970年代のアジア、南太平洋地域の海洋民族の歴史や文化に関する展示資料約600点を展示していました。

今回のリニューアルでは、沖縄国際海洋博覧会のテーマは継承しつつ、新たに収集した資料を加えて、テーマ性のある展示構成で太平洋地域の海洋文化を紹介します。

○入館料：

（一般）大人170円、小人50円

（団体）大人 80円、小人30円（団体は20名以上）

○開園時間

通常期（10月～2月）：8：30～17：30

夏 期（ 3月～9月）：8：30～19：00

【経 緯】

- ・1975年（昭和50年） 6月 海洋文化館完成
- ・1975年（昭和50年） 7月 沖縄国際海洋博覧会開幕
民族歴史クラスター内に政府出展施設「海洋文化館」として開設
- ・1976年（昭和51年） 1月 沖縄国際海洋博覧会閉幕
- ・1976年（昭和51年） 8月 国営沖縄海洋博覧会記念公園開園
政府出展施設を継承し公園施設としての「海洋文化館」開設
- ・2011年（平成23年） 6月 海洋文化館映像ホールリニューアルオープン
- ・2011年（平成23年）11月 工事の為海洋文化館展示ホール閉館
- ・2013年（平成25年） 7月 夏休み先行オープン

【展示ホールの説明】

今回リニューアルする展示ホールは、「新天地を求めて海を超えた人々、海との関わりから生まれた文化―」これら全体を通底するテーマとして、オセアニアにおけるモンゴロイドと沖縄の姿を描く展示内容になっており、全体を6つのゾーンに分けています。

○ゾーン1「海洋文化館が結んだ交流」

ゾーン1では、海洋博覧会当時から展示している「ダブルカヌー」を展示するとともに、海洋文化館の建設を契機に実現した海洋文化をテーマにした国際交流を紹介する展示となっています。

※ゾーン1は無料で観覧できます。



ゾーン1の主な展示資料

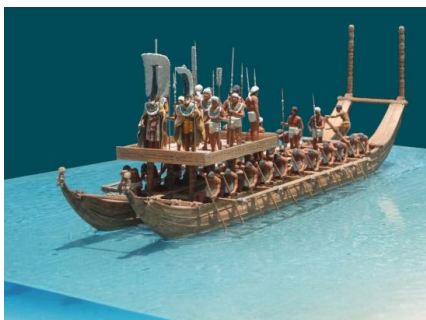
○タヒチの儀礼用ダブルカヌー（実物）



沖縄国際海洋博覧会当時から展示されているカヌー。1774年、英国の冒険家ジェームスックがタヒチで海戦の儀式を見た時に同行の画家に描かせたスケッチを元に復元したものです。

（写真は旧海洋文化館での展示の様子）

○タヒチのダブルカヌーのジオラマ



18世紀後半、イギリスのクック艦長を迎えたダブルカヌーの様子を復元。一段高い神殿には、王や神官らが立って出迎えている様子を再現しています。（新規展示）

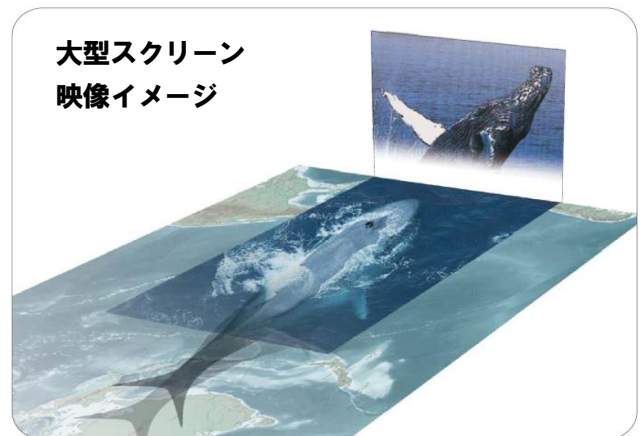
○ゾーン2「海を越えていく人々」

ゾーン2では、2階ホールと3階ロフトに分かれており、2階ホールでは太平洋地域を床地図で表示するとともに各地域で利用されているカヌーを展示しています。また、床面と壁面を大型スクリーンとして利用し、ダイナミックな映像で海洋文化等を紹介します。

3階ロフトでは、「海を越えて行く人々」を紹介するとともに、映像コーナー、体験コーナーを設け、幅広い層の人たちに海洋文化について理解を深めてもらえるような展示となっています。



イメージ



大型スクリーン
映像イメージ

※「先行オープン時はデモ映像となります。」

ゾーン2の主な展示資料（3階ホール）

太平洋各地の伝統的なカヌー模型を新たに収集しました。（写真は一部）



ソロモン諸島の
シングルアウトリガーカヌー



ハワイのダブルカヌー

ゾーン2の主な展示資料（3階ホール）

国内では初めて、「バンドデシネ」と呼ばれる「続き漫画」の手法を用いて、それぞれ約30mにもおよぶ壁画で、「伝統的航海師になるまで」と「伝統的なカヌーづくり」をわかりやすく紹介しています。



○ゾーン3「海洋文化の広がり」

ゾーン3では太平洋地域の「住」「食」「漁撈」「装い」「信仰」「音楽」といったテーマにおいて、太平洋地域の文化を紹介するとともに、沖縄の文化との共通性に着目した「コラム展示」を行い、沖縄と太平洋地域のつながりを感じていただけるような展示となっています。
※ゾーン3はグランドオープンからの観覧となります。

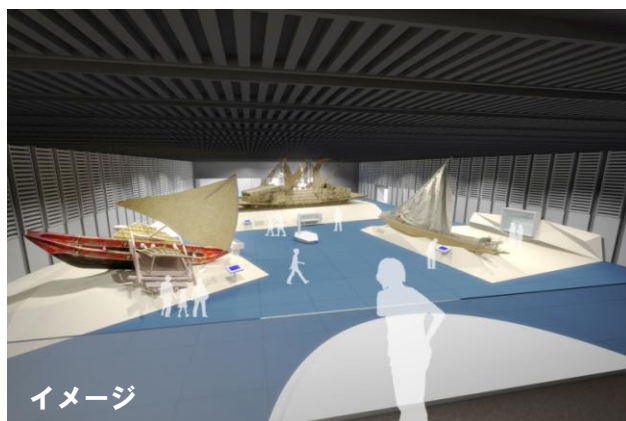


○ゾーン4「海が結ぶ交流」

ゾーン4では太平洋地域での交流に使用された航海用カヌーを展示するとともに、太平洋地域で行われた交流、交易を紹介します。

展示される航海用カヌーは博覧会当時から展示されていたメラネシアの「クラ・カヌー」、「ラカトイ」とともに、今回新たに伝統的建造技術を用いて建造されたミクロネシアの「航海カヌー（リエン・ポロワット号）」を建造中の映像と併せて展示します。

※リエン・ポロワット号はグランドオープンからの観覧となります。



クラ交易で使われている交易品首飾りと腕輪
（新規展示）



○ゾーン5「沖縄の海洋文化」

ゾーン5では、沖縄の海洋文化を紹介します。

今回のリニューアルに向け、糸満市で「本ハギサバニ」、「南洋ハギサバニ」、西表島祖内地区で「マルキンニ（マチキフニ）」を建造しました。実際のサバニを建造中の映像とあわせて展示します。

※「本ハギサバニ」はグランドオープンからの観覧となります。

また、実際に本部町のカツオ漁で使用されていた「タタナー」、戦後進駐したアメリカ軍の廃棄した飛行機用のタンクを使って作られた「タンクブニ」等、サバニ以外の船や沖縄の伝統漁具等も展示します。



タンクブニ



沖縄の伝統漁具

ゾーン5の主な展示資料

今回新たに建造した「本ハギサバニ」「南洋ハギサバニ」「マチキフニ」の建造中の映像と実物のサバニ



本ハギサバニ建造中の映像



南洋ハギサバニ建造中の映像



マチキフニ建造中の映像



本ハギサバニ



南洋ハギサバニ



マチキフニ

今回展示する「本ハギサバニ」は実際に糸満市から当地まで航海し、7月13日(土)16:00頃、エメラルドビーチに到着する予定です。(荒天の場合は中止)

○ゾーン6「海と人のいま、そして未来」

ゾーン6では、1970年に開催された沖縄国際海洋博覧会当時の様子と現在の海洋博公園を紹介するとともに、体験用サバニコーナー、海洋文化館各ゾーンの展示物の詳細な情報を検索し学習していただくための情報検索コーナーを設置しております。

【夏休み先行オープン関連のイベント】

海洋文化館を始め海洋博公園では、夏休み先行オープンに関連した各種イベントも予定しています。

【海洋文化館でのイベント】

- ・ポリネシアンダンス、タヒチアンダンス、サモアダンスのステージショー
- ・貝殻を使った工作体験、ポリネシアのかんたんお面作り体験、他
- ・シーボーンアート工作体験
- ・沖縄の伝統漁具作り体験

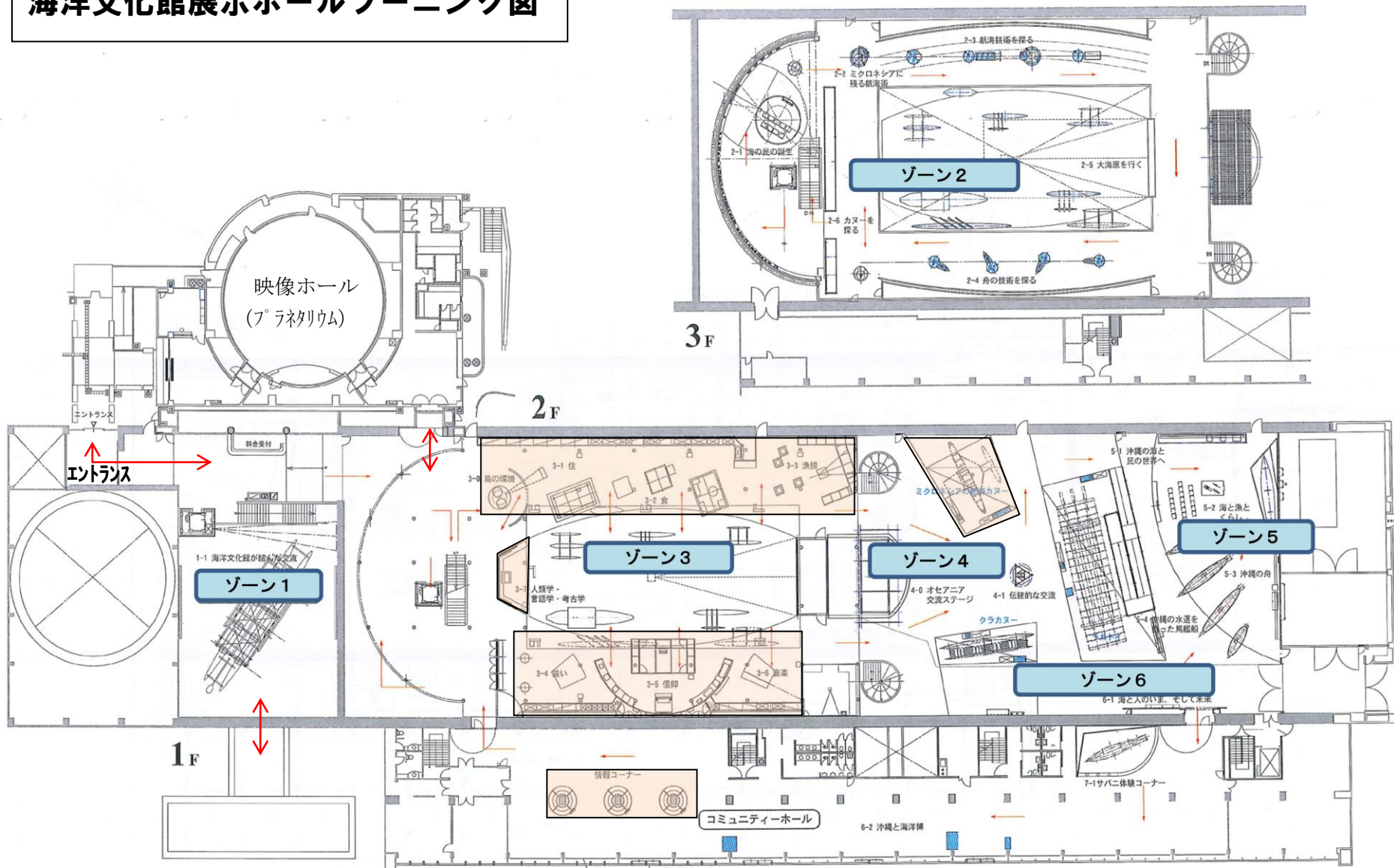
【マリフィールド体験イベント】

- ・夏休み親子カヌー体験&サバニ体験
- ・イノー体験、追い込み漁体験他

詳しくは、海洋博公園ホームページをご覧ください。

アドレス：<http://oki-park.jp/>

海洋文化館展示ホールゾーニング図



グランドオープンから観覧可能となる展示物